

第22回 セミナー「子どもの育ちを考える」アンケート感想より一部抜粋

平成28年1月23日（土曜日）

講師：エール株式会社 取締役・安田式体育遊び研究所 研究員

居 関 達 彦 先生 先生

講演Ⅰ「年齢発達に応じた体育遊びについて」

講演Ⅱ「保護者の理解を深める発信内容とその方法について」

- ・”ちゃんとさせるより、ちゃんと熱中させる“という言葉がとても印象的でした。子どもたちが熱中でき遊びや環境、言葉がけなど明日からの保育に活かしていきたいと思います。
- ・今日の講演を聞き、マイナスな声掛けをたくさんしてしまっていると反省しました。子どもたちが「やらされている」と感じるのではなく、「楽しかったからまたやりたい」と感じられるような遊びや活動をしていきたいと思います。
- ・子供との関わり方で、「ほめる（評価）より喜ぶ（共感）」ということが特に心に残りました。まだまだ、情緒的な絆が築けていない子がいるので、月曜日からしっかりと共感していきたいと思います。
- ・子どもの熱中できる遊びを体育遊びだけでなく他の遊びも工夫していきたい。子どもを褒めることが評価ではなくほめ上手となるようにしていきたいと思います。
- ・今回も、子どもの指導だけでなく保護者への知らせ方、教師のモチベーション、未来を担う子どもたちの指導・力を育むことの大切さがメッセージの中にたくさん含まれていた。**体の力みをとる**という焦点を今まで意識したことがなかった。来週から力みをとることのできる遊びを見つけていきたい。
- ・子どもたちが喜んでやってみたい、出来そうという気持ちを持たせる事、〇〇できた？ではなく、**もしできるようになったら教えてね！** ほめ方、ほめるよりも喜んでやることがどんなに大切な事か、気づかされました。映像とお話でわかりやすく、先生の話一つ一つに、そうそうとうなずきながら聞き入りました。
- ・具体的な運動遊びの展開は保育にとっても参考になりました。また、**ポイントを押さえた指導**、自分を省みて反省の気持ちと共に今後、自分の気をつける点が、はっきりしました。ありがとうございました。
- ・私自身が子どもたちと体育遊びや体操を楽しむだけではなく、楽しんでいる事を保護者の方にどのように伝えていくと良いのか、何を伝えると良いのか、悩むところもありましたが、本日の研修で教えていただいたことを私なりの言葉で一生懸命伝えていきたいと思いました。**私自身が子どもの出来事を喜べる人となり、保護者の方やクラスの子どもたちに伝えられる人になりたいです。**ありがとうございました。
- ・誉めて良い所を伸ばしていくことはよくしていますが、**できた事に対して喜ぶことの大切さ**を感じました。
- ・ほめるより喜ぶという言葉がすごく心に残りました。日頃ほめる事が多い、否定的に伝えていることが多いと反省します。『喜ぶ』を意識して月曜からも楽しく保育します。そして、保護者とも喜び合いたいです。

